

「新潟大学歯学部創立50周年を祝して」

新潟大学名誉教授／よこごし野村歯科クリニック 院長 野村 修 一

母校の新潟大学歯学部が創立50周年を迎えたこと、誠におめでとうございます。私は3回生として入学し、卒業した昭和48年になって旧医学部グラウンド跡地に歯学部玄関のあるC棟と講堂などが完成しました。学生時代は建築中の新校舎を横目で見ながら、木造の旧医学部病院で臨床実習を行っていたことが思い出されます。卒業後直ちに教員として勤務し、41年間在職して定年退職した私にとって、新潟大学歯学部は空気のように普段は意識することのない、傍にあって当然の存在でした。

定年退職して約1年後の平成27年6月に生まれ育った故郷で、「よこごし野村歯科クリニック」を開院し、地域医療に従事する毎日です。材料、術式など歯科医療の進歩は著しくて学びの日々を送っていますが、基本的な治療理論は学生時代に習ったことと大差はなく、今更ながら教育の力を再認識しています。

新潟大学歯学部では学部開設以来、充実した診療参加型臨床実習を継続してきたことが、研修歯科医や若手同窓生の質の高さとなって結実し、高い評価を得てきた所以と考えています。また、教員在職中に入学試験の面接において、基本を学ぶ臨床実習、臨床研修が充実した体制の下で行われていることが新潟大学歯部部の大きな魅力であると受験生に周知されている事を誇らしく感じてい

ました。一方で、この体制を維持することは極めて大変で、総合診療部をはじめとして、各診療科、看護部、中央診療支援部などの皆様の尽力に敬意を表します。

生涯学習の最初の段階から実際の診療を通して歯科医学、歯科診療を学べることは、単に活字や写真を追うだけの教育に比べて数倍の学習効果があるのは明白で、学生諸君にはこの恵まれた環境を存分に活用してほしいと願っています。

平成24年度から始まった大型改修工事では、研究室の移転などで落ち着かない時期もありましたが、各工事期間が終了する度に、改修後の明るく機能的になった建物は歯部部のさらなる発展を予感させるものでした。教員生活最後の1年間を改修後の真新しい研究室で過ごせたことは幸いです。

平成27年9月に竣工した大型改修によって、教育設備の充実と、最先端の研究機器の効率的配備による研究環境の充実が図られたと聞いています。今後は、若い研究者達による斬新な発想に基づく独創的な研究や共同研究による業績が集積されることを期待しています。

半世紀に亘り、常に自分の傍らにあった新潟大学歯学部部に感謝するとともに、次の50年に向かって力強い1歩を踏み出したことを心から祝します。